



平成25年8月12日
伊勢市立御園小学校

No. 71

校長室より

夏休みも折り返し点を過ぎました。立秋も過ぎ、暦の上では秋を迎えています。いよいよお盆の時期になり、何かと慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。先週から猛暑がぶり返し、暑さに耐える毎日です。どうぞ体調など崩されませんよう、ご自愛ください。

古今和歌集に、「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」（藤原敏行）という歌があります。そのまま訳すと、「秋が来たと目で見てもしっかりとは分からないけれども、風の音で（秋が来たことに）気付いた」ということになるのでしょうか。ちょうど立秋を迎えた今頃の季節を詠んだものですが、まだまだ吹く風にも秋の気配は感じられない、今日この頃ですね。

理科研修会

8月6日、本校を会場にして、理科の研修会が実施されました。この研修会には、県内各地より70人ほどの教師が参加しました。この日は、筑波大付属小の教員による師範授業も実施され、御園小の5年生が参加して、大活躍してくれました。たくさんの人に見られながらの授業でしたが、しっかり実験を行い、発表も多く素晴らしい授業態度でした。



授業後、研修会は理科室から視聴覚室に場所を移し、熱心な話し合いがなされました。子どもたちの頑張りのおかげで、有意義な素晴らしい研修会となりました。

観葉植物が枯れた理由

窓際に置いてあったオリヅルランが枯れてしまいました。水はたっぷりあげたはずなのに、窓から降り注ぐ日の光にも、しっかり当てたはずなのに、それでもオリヅルランは枯れてしまいました。液体肥料も何日かおきにあげてましたから、もう寿命だったのかなと思いつつ、鉢からオリヅルランを抜きました。根っこを見たとき、枯れた理由がわかりました。根ぐされを起こしていたのです。もちろんそれは水のやりすぎでした。大切にすぎるあまり、水をやりすぎてた？そうではありません。しばらく忙しい日が続いていたとき、水やりをわすれるといけないから、たっぷり水をあげたことがありました。鉢の下の皿に

水が溜まるほど、たっぷりの水をあげたのです。本当なら、鉢の土の様子やオリヅランの葉の色や茎の様子をしっかり観察し、水の量や肥料のやり方を調節しなければなりません。少なくとも、余裕のあるときには、それができていたのです。ところが、時間的にも精神的にも余裕がなくなると、「水さえやれば」「肥料さえあたえておけば」という気持ちになり、一番大切な植物の様子を見るということをしなくなってしまったのです。植物は必要以上に水を与えられ、ほしくもない肥料を与えられ、結局根ぐされを起こしました。なのに私は、ちゃんと水を与えたのに、肥料もしっかり与えたのにと、枯れてしまったことに不満の気持ちを持ったのです。



もしかしたら、子育てにも共通する部分があるのかも知れません。自分の過去の子育てを振り返ったとき、こんなことはなかっただろうかと反省しています。こんなに与えてあげたのに、ちっとも変わらない。こんなに手をかけてあげているのに、何も成長しないなどと、愚痴を言ったことがあったように思います。まず子どもの様子を見る。子どもの話を聞いてあげて、そこから何が必要なのかを考えてあげる。そんな姿勢が欠けていたように思いました。忙しさにかまけて、必要以上に水や肥料を与えることが、愛情をかけていることだと錯覚している自分に気づきました。

オリヅランは、溶けてしまった根を取り除いて、少し乾燥気味の新しい土に植えなおしました。何とか元気になってくれることを願って、土の状態や葉の様子を見ながら、世話をしていくつもりです。・・・いつもの、私の失敗談でした。・・・

自由水泳終了

今年自由水泳も、6日もちまして無事終了しました。今年雨や機械の故障で中止になったり、途中で切り上げた日もありました。監視をしていただいた皆様には、いろいろと気をもんで頂く場面も多かったかと思えます。本当にありがとうございました。無事に終了できましたのも、皆様方のご尽力のおかげと、心よりお礼申し上げます。



参考までに、今年自由水泳には、のべ501人の子どもたちが参加してくれました。

なお、老朽化しておりましたプールの濾過装置ですが、来年度の夏までに新しいものと取り替えていただくことになりました。来年は、機械の故障を心配することなく、安心してプールを使用することができます。

